

# 平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

## 1. 住民参加による地域福祉の推進

### (1) 地域福祉活性事業 (村受託事業)

#### 1 抛り所づくり事業

##### ① サロン活動の運営支援

##### 【柿の木平・坂尻地区】

実施日	内容	回数	参加者数
毎月第1水曜日、毎月第3火曜日	茶話会、健康ストレッチ体操	24回(年間)	実:19人 延べ:230人

茶話会では、何気ない会話の中から参加者で地域の情報を共有することができた。結果、「清川ホーム」のサマーフェスティバルへ参加し清川音頭を踊ったり、清水ヶ丘地区にある「結の樹よってけし」を訪問し、ランチや大人の塗り絵を楽しむなど新たな活動に繋ぐことができた。

一方、健康ストレッチ体操は、4月から新たに健康運動実践指導者による指導が加わり、従来の健康ストレッチのメニューに厚みが加わった。結果、1時間のトレーニングによって介護予防、認知症予防に努めることができた。

### 【上舟沢・下舟沢地区】

実施日	内容	回数	参加者数
毎月第2日曜日（原則）	茶話会	12回（年間）	実：41人 延べ：245人

茶話会の中に、クリスマス会、歌の会、吹き矢大会など各種行事を組み入れ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の交流が実現できた。結果、サロンを介して出会った高齢の女性と若年の女性との間で交流が芽生え、高齢の女性が若年の女性の着物の着付けを手伝うなどの関係を構築するまでに至ることができた。また、身近な地域で、顔見知りの方とおしゃべりをするにより、ご自宅で配偶者の介護をされている方にとっての「息抜きの場」としての一躍を担うことができた。

#### ② 住民への普及啓発

・「社協だより4・11月号」を活用し、村内で実施されている柿坂サロン、舟沢サロンの活動内容や魅力等を周知することにより、実施されていない他の地域で自発的な活動が展開されるよう促した。

・清川村高齢期入門健康講座実行委員会主催の「**高齢期入門健康講座**」において、柿坂サロン、舟沢サロンの活動を支えている実行委員が、サロン活動立ち上げまでの経過や活動内容、参加者の特徴などについて、スライドを活用し紹介できるよう支援した。

## 2 専任担当者の配置

地域づくりのコーディネーターとして社会福祉士を配置した。

### 3 小地域ネットワーク活動の開催

#### ① 清水ヶ丘地区の「見守り支え合いマップ」を活用しての見守り活動

- ・情報の更新（年間6回）

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の方々の情報をメンバー間で共有した。更に当該情報を地域ケア会議に報告し、関係機関・団体との重層的な見守りに繋げた。

#### ② 金翅・清水ヶ丘地区の「コミュニティ交通『ぷらっとGO!』の運営支援」

- ・活動に対する助言

定例会へは上半期、下半期の2回出席し、立ち上げ以来3年目を迎えた当該取り組みが従来どおり「住民主体」で展開できるように働きかけた。

### 4 相談ネットワーク活動の実施

- ・相談担当者会議の開催（年間2回）

コーディネーター、ケアマネジャー、権利擁護担当職員、資金貸付担当職員で要支援者等の情報交換を行い、必要に応じて支援方法を共有した。

#### ☆相談ネットワーク会議の主な議題

- ・あんしんセンターご利用者の生活支援について
- ・一人暮らし認知症高齢者の成年後見制度へのつなぎについて

- ・複合的な課題を有する世帯への介入方法について
- ・低所得者の支援方法について

## 5 ケース支援調整会議の実施

- ・支援団体による支援目標の共有と役割分担を確認した。
  - 障害者総合相談室一年間7回
  - 民生委員児童委員協議会一年間8回

## (2) ボランティア事業

### 1 ボランティア情報の収集及び提供

(収集)

- ざま・あいかわ町災害ボランティアネットワーク (事務所訪問)
- 寒川町社会福祉協議会 (災害ボランティアセンター立ち上げ訓練視察)
- 厚木市社会福祉協議会森の里地区地域福祉推進委員会 (生活支援ボランティア活動内容インタビュー)

(提供)

- 年間5回 「社協だより」を活用し、村内外の活動を周知した。
  - ・ 4月号 配食ボランティア

- ・ 5月号 認知症サポーター養成講座
- ・ 7月号 「思い出のランドセルギフト」キャンペーン
- ・ 7月号 災害ボランティアコーディネーター
- ・ 10月号 生活支援ボランティア
- ・ 2月号 ちょこっとボランティア

## 2 ボランティア講座の開催

大規模災害発生時に、ボランティアが円滑に活動するための拠点となる「災害ボランティアセンター」の運営を、村保健福祉課、清川村社協とともに協力してくださるボランティアを養成した。

【開催年月日】 【1回目】 8月22日（土） 【2回目】 9月6日（日） 【3回目】 10月9日（金）

【開催場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館

【参加人数】 【1回目】 20人 【2回目】 19人 【3回目】 22人 【全日程参加者（登録者）数】 8人

【講師】 ざま災害ボランティアネットワーク、あいかわ町災害ボランティアネットワーク

## 3 ボランティアコーディネート 17件

【内容】 ひまわり館デイサービスにおけるコーディネート 団体14件（内、村外2件）、個人3件

《広報紙の朗読、尺八・民謡、煎茶のお点前、デイサービス夏まつりの手伝い、歌、福前体操、フォークダンス、読み聞かせ等》

#### 4 ボランティアグループ活動援助

- 前年度の活動実績に伴い助成金額を決定し、1グループ（もみじ会）へ交付した。

#### 5 学校、地域を基盤とした福祉教育授業の開催

村内の小中学校が実施した福祉に係わる体験学習において、プログラムの検討段階から当日の実施まで協力した。また、一人でも多くの住民に認知症を正しく理解していただき、認知症のご本人やご家族がいつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるように、村内のキャラバンメイトの協力を得て認知症サポーター養成講座を開催した。

- 宮ヶ瀬中学校全校道徳体験学習【6月24日（水）】

内容「高齢者疑似体験」全学年

- 緑中学校福祉人権体験学習【7月15日（水）】

内容「アイマスク体験（1学年）」、「車椅子体験（2学年）」、「高齢者疑似体験（3学年）」

- 緑小学校総合学習

平成27年11月12日（木） 内容「社協デイサービスとの交流」

平成27年11月19日（木） 内容「社協デイサービスとの交流」

平成28年 1月25日（月） 内容「社協デイサービスとの交流」いずれも5年生

- 宮ヶ瀬小学校全校道徳体験学習【12月8日（火）】  
内容「障害者スポーツ体験・スルーネットピンポン」 全学年

- 認知症サポーター養成講座

- 【実施日・対象】 6月 7日（日） 上・下舟沢自治会会員7人
- 6月17日（水） 上・下舟沢自治会会員2人
- 7月23日（木） 根岸自治会会員2人
- 9月11日（金） 煤ヶ谷婦人会会員15人
- 10月20日（火） 結の樹よってけし15人

### （3）当事者支援事業

#### 1 緑ことぶき連合会事務局の運営

緑ことぶき連合会の事務局として、総会を初め、懇談会、カラオケ発表会、スポーツサロン、趣味活動、異世代交流などの活動を支援した。

#### 2 心身障害者福祉活動の推進

##### ① 知的障害者サロン活動

障害者同士の交流機会を確保するとともに、交流を通じて得られたニーズから権利の擁護に努めた。

【活動回数】 12回（毎月第3火曜日） 【延べ参加人数】 44名（実人数4名） 【内容】 おしゃべり、ゲーム、外出

## ② 身体障害者サロン活動

障害者同士の交流機会を確保するとともに、アドバイザーからの情報提供により、新たな活動の発展に努めた。

【活動回数】 5回（奇数月の第3水曜日） 【延べ参加人数】 5名（実人数2名） 【内容】 話し合い

## （４）啓発広報事業

### 1 普及啓発セミナー等の開催

#### ① 地域福祉フォーラム

誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるように、自身の生き立ちや最期の過ごし方の希望を記録する「エンディングノート」、また、認知症になっても自分らしく生活することができる「任意後見制度」の普及啓発を図った。

【開催年月日】 9月18日（金）、10月2日（金）

【開催場所】 清川村保健福祉センターやまびこ館 多目的集会室

【参加人数】 13人（1回目） 12人（2回目）

【講師】 有限会社アロマプランニング 井上康子氏（ファイナンシャルプランナー・社会福祉士）  
えびな法務総合事務所 高橋正人氏（司法書士、行政書士）

### 2 広報部会の開催

社協だよりの紙面構成や掲載内容等を住民の視点から検討していただくために、毎月開催した。



### 3 社協だよりの発行

福祉制度の普及・啓発や福祉情報、社協の事業活動を周知するために、毎月発行した。

## (5) 交流事業

### 1 ふれあい昼食会の開催

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の方々とボランティア等が昼食を共にすることにより、相互の交流を図ると同時に利用者の心身の状況を把握することを目的に開催した。

【実施回数】 12回（毎月第1木曜日） 【延べ参加人数】 157人（実人数21人）

【内容】 おいしい食事、健康チェック、ドライブ（お花見）、情報提供（ふれあい買い物市、振り込め詐欺）、レクリエーション（スカットボール、ダーツゲーム、連想ゲーム）

## 2. 地域における福祉サービス事業の総合的展開

### (1) 在宅福祉事業

#### 1 清川村福祉給食サービス事業の実施（村受託事業）

日常生活に何らかの支障のある一人暮らし高齢者等にお弁当を宅配することにより、食生活の改善と健康増進を図り、併せて孤独感の解消と安否の確認を行った。

【実施回数】 93回（毎週水曜、金曜日） 【延べ配食数】 1,706食 【実利用者数】 34名

【調理員】 清川村食生活改善推進団体もみじ会 【配食員】 配食ボランティア16名

#### 2 移送サービス（福祉有償運送サービス）事業の実施

既存の交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して、福祉車両による送迎を行い、社会参加の促進等に努めた。

【延べ移送回数】 250回 【実利用人数】 23名

【移送内容】 病院への移送 183回 施設への移送 55回 その他の移送 12回

## (2) 介護サービス事業所の運営

### 1 居宅介護支援事業

要介護認定を受けた高齢者に対して、介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、当該高齢者の自立の援助に努めた。

【延べ作成数】 637名分 【延べ要介護認定調査数】 8名分 【職員体制】 介護支援専門員 2名

### 2 通所介護事業

介護支援専門員が作成した介護サービス計画（ケアプラン）に「通所介護」が位置づけられた要介護（要支援）高齢者に対して、送迎、入浴、食事サービス、機能訓練、趣味活動を提供することにより、当該要介護（要支援）高齢者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに当該要介護（要支援）高齢者のご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図った。

【職員体制】 管理者 1名 生活相談員 1名（兼務） 看護師 3名 介助員 4名 調理員 3名 送迎員 3名

実施回数	介護度別延べ利用者数						延べ利用者数	
	総合事業	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4		要介護 5
243回	15	87	981	991	869	169	0	3,112名

## (3) 障害サービス事業所の運営

### 3 地域生活支援事業

利用なし

## (4) 権利擁護事業

### 1 日常生活自立支援事業の実施（県社協受託事業）

判断能力が不十分な高齢者の福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理を行うことによって、本人の権利擁護に努めた。

【相談・問い合わせ件数】 1件 【関係機関等との連絡・調整件数】 77件 【契約件数】 0件 【終了件数】 0件

【現在利用者数】 2名

### 2 成年後見制度の相談窓口

成年後見制度をわかりやすく説明することにより、制度の利用促進に努めた。

【相談件数】 2件

## (5) 援護事業

1 生活福祉資金貸付事業の実施（県社協受託事業） ●相談業務・・・5件 ●貸付業務・・・2件

2 高額療養費貸付事業の実施（村受託事業） ●相談業務・・・0件 ●貸付業務・・・0件

3 緊急援護資金貸付事業の実施（自主事業） ●相談業務・・・1件 ●貸付業務・・・0件

#### 4 年末たすけあい運動寄付金の配分

【ひとり暮らし高齢者等】 庭木の剪定 1世帯 おせちの宅配 4世帯

【ひとり親世帯】 激励金の配分 6世帯

【心身障害者】 クリスマス会の開催 知的障害者 本人6名、家族6名 精神障害者 本人3名、家族1名  
身体障害者 本人1名が参加

### (6) 事務取扱事業

#### 1 共同募金運動業務

共同募金会清川村支会の事務局を運営し、共同募金運動の普及啓発に努めた。

#### 2 ともしび運動の推進

清川村ともしび運動推進協議会の事務局を運営し、ともしび運動の普及啓発に努めた。

### 3. 組織体制の整備・強化

#### (1) 会の運営

##### 1 会員募集

住民を初め、各種団体、企業・商店に対して会員の加入を依頼し、自主財源の確保に努めた。

●第1種会員（正会員）加入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・841, 500円

総世帯数	加入世帯数	加入率	前年度比	加入口数	前年度比
929世帯※	890世帯	96%	増減なし	1,683口	30口減

※平成27年5月31日現在における自治会加入世帯数

●第2種～第6種会員（正会員）加入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34,000円

第2種会員	第3種会員	第4種会員	第5種会員	第6種会員
3口	1口	5口	9口	16口

●賛助・特別会員加入状況・・373,000円

	地区	加入会員数	会費額		地区	加入会員数	会費額
	賛助会員	宮ヶ瀬地区	2件		6,000円	特別会員	宮ヶ瀬地区
煤ヶ谷地区		7件	17,000円	煤ヶ谷地区	39件		270,000円
合計		9件	23,000円	合計		48件	345,000円

## 2 理事会

	年 月 日	内 容	出席者 (人数)
第1回	27. 5. 12 (火)	報告事項 (1) 日常生活自立支援事業について 議議案第1号 評議員の選任について 議議案第2号 事務局規程の一部を変更する規程について 議議案第3号 印章規程の一部を変更する規程について 議議案第4号 臨時職員、非常勤職員の給与及び勤務時間、休暇等に関する規程の一部を変更する規程について 議議案第5号 職務権限規程の一部を変更する規程について 議議案第6号 文書取扱規程の一部を変更する規程について 議議案第7号 平成26年度事業報告について 議議案第8号 平成26年度一般会計資金収支決算報告について	理事 (4) 監事 (1)
第2回	27. 6. 1 (月)	議議案第9号 正副会長の選任について	理事 (6)
第3回	27. 9. 7 (月)	報告事項 (1) 日常生活自立支援事業について 議議案第10号 平成27年度一般会員、賛助・特別会員入会申込の承認について	理事 (6)
第4回	27. 11. 19 (木)	報告事項 (1) 日常生活自立支援事業について (2) 社会福祉法人指導監査の結果について (3) 平成27年度上半期事業の実施状況について (4) 平成27年度上半期一般会計資金収支予算の執行状況について	理事 (4) 監事 (1)

	年 月 日	内 容	出席者 (人数)
第5回	28. 3. 10 (木)	報告事項 (1) 日常生活自立支援事業について 議案第11号 緊急援護資金貸付金償還金の不納欠損処理の承認について 議案第12号 清川村社会福祉協議会介護サービス事業所運営規程 (通所介護) の一部を変更する規程について 議案第13号 清川村社会福祉協議会介護サービス事業所運営規程 (介護予防通所介護) の一部を変更する規程について 議案第14号 個人情報保護規程の一部を変更する規程について 議案第15号 会長の専決事項に関する定款細則の制定について 議案第16号 平成27年度一般会計資金収支補正予算 (案) (第1号) について 議案第17号 平成28年度事業計画 (案) について 議案第18号 平成28年度一般会計資金収支予算 (案) について	理事 (4)

### 3 評議員会

	年 月 日	内 容	出席者 (人数)
第1回	27. 5. 13 (水)	報告事項 (1) 第1回理事会の結果について 議議案第1号 役員を選任について 議議案第2号 平成26年度事業報告について 議議案第3号 平成26年度一般会計資金収支決算報告について	会長 評議員 (7) 監事 (1)



	年 月 日	内 容	出席者 (人数)
第2回	27. 11. 27 (金)	報告事項 (1) 第4回理事会の結果について (2) 平成27年度上半期事業の実施状況について (3) 平成27年度上半期一般会計資金収支予算の執行状況について	会長 評議員 (9) 監事 (1)
第3回	28. 3. 17 (木)	報告事項 (1) 第5回理事会の結果について 議案第4号 平成27年度一般会計資金収支補正予算 (案) (第1号) について 議案第5号 平成28年度事業計画 (案) について 議案第6号 平成28年度一般会計資金収支予算 (案) について	会長 評議員 (9)

#### 4 監事会

	年 月 日	内 容	出席者 (人数)
第1回	27. 5. 1 (金)	平成26年度事業報告について 平成26年度決算報告について	監事 (2)
第2回	27. 11. 10 (火)	平成27年度上半期決算報告について	監事 (1)
	27. 11. 11 (水)	平成27年度上半期事業報告について	監事 (1)

#### 5 プログラム評価の実施

「ロジックモデル」により、本会が取り組んでいる各種事業活動が、「地域福祉の推進」に繋がっているかを理論的に評価した。

## 6 表彰

平成27年度全国社会福祉大会

【主催】厚生労働省、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人中央募金会

【被表彰名】全国社会福祉協議会会長表彰（社会福祉協議会優良活動）

【対象となった活動】ロジックモデルを活用したプログラム評価による社協活動の充実と組織強化、住民主体の「コミュニティ交通」の実践に対する相談支援